

静岡県 の 地震 活動

第 36 巻第 10 号

2025 年 11 月 17 日

静岡地方気象台

2025 年 10 月の地震活動概況

静岡県で震度 1 以上を観測した地震は 7 回あり、このうち栃木県北部の地震により震度 2 を観測しました。

静岡県内の最大震度別地震回数（2025 年 10 月 1 日～31 日）

震度	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	合計
地震回数	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7

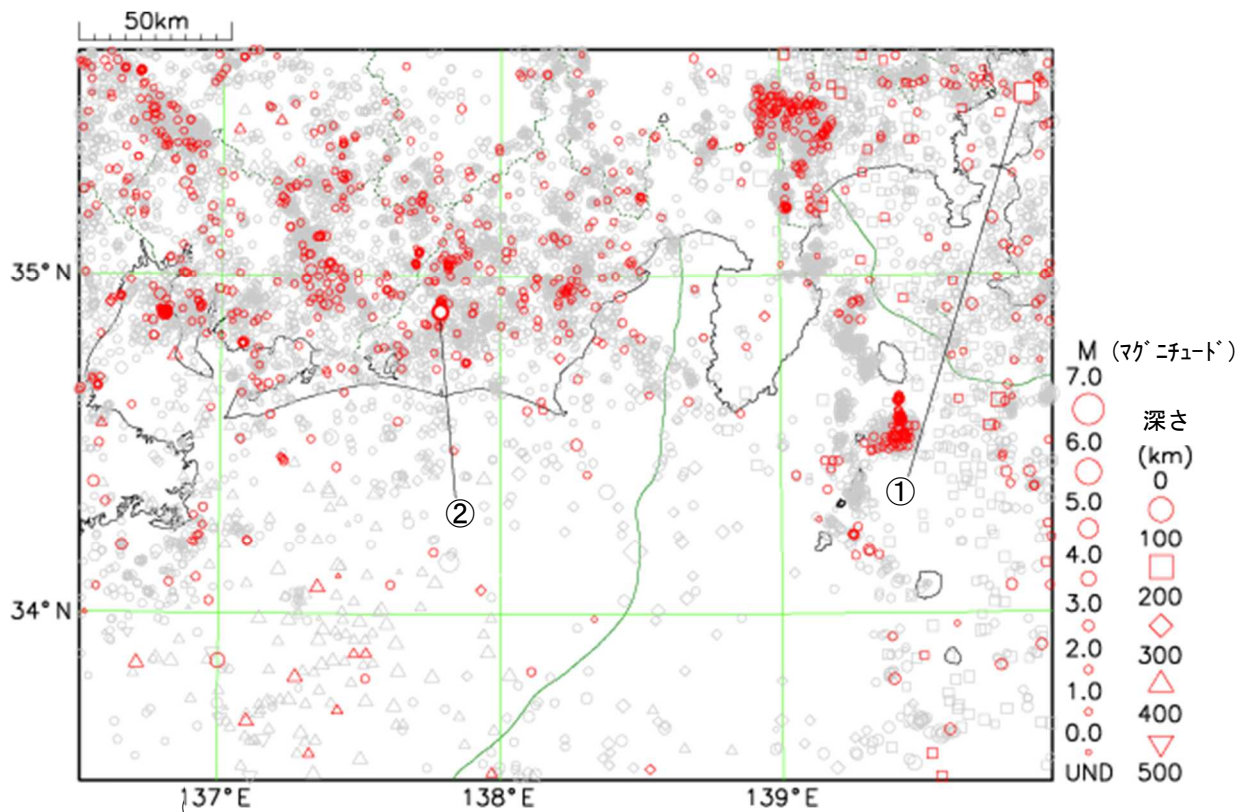


図 1 静岡県とその周辺の震央分布図（2024 年 11 月 1 日～2025 年 10 月 31 日、深さ 0～500 km、M すべて）2025 年 10 月の地震を赤色で表示

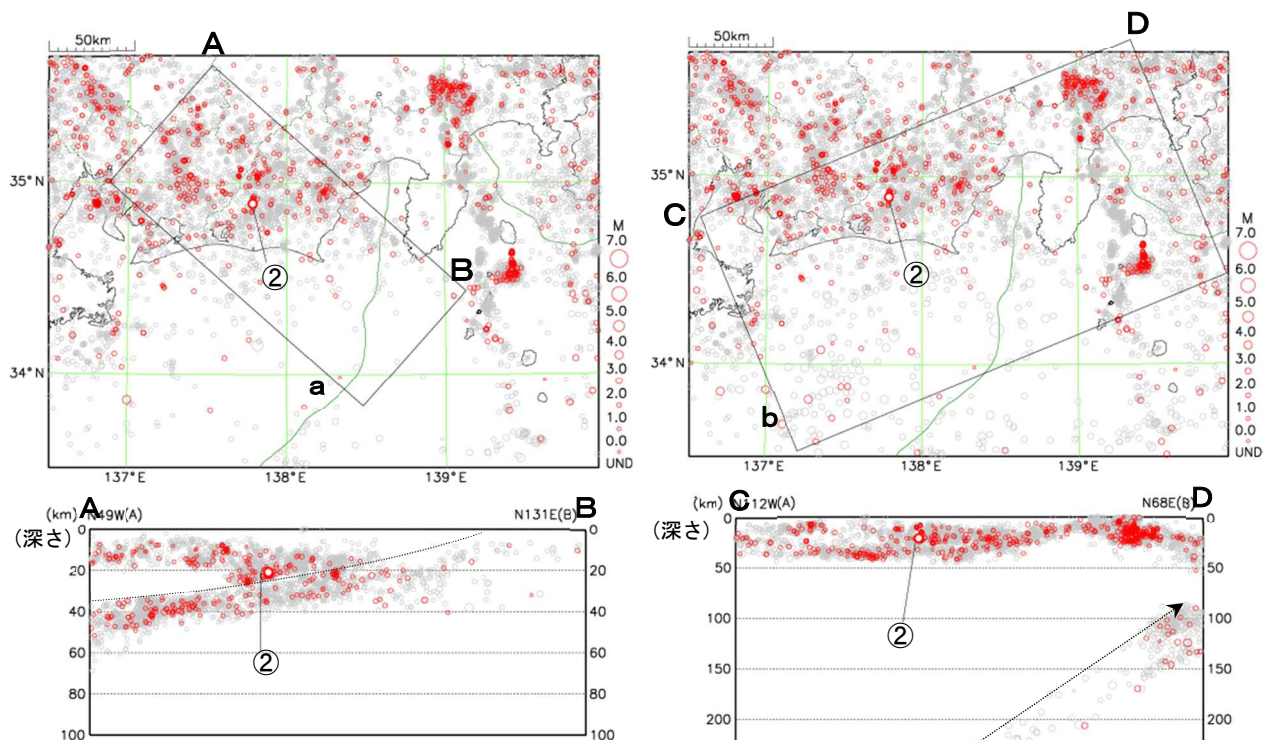


図2 震央分布図(2024年11月1日～2025年10月31日、深さ0～100km、Mすべて)及び断面図(領域a内A-B断面)
2025年10月の地震を赤色で表示
点線は陸側プレートとフィリピン海プレートとの境界のおよその位置

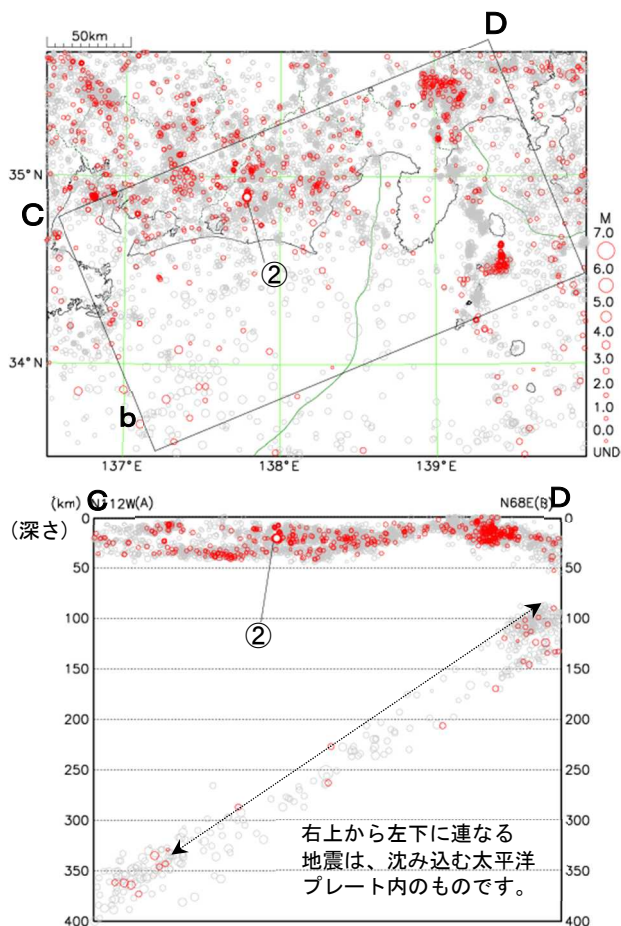


図3 震央分布図(2024年11月1日~2025年10月31日、深さ0~400km、Mすべて)及び断面図(領域b内C-D断面)
2025年10月の地震を赤色で表示

1. 静岡県及びその周辺

①東京湾の地震（図1の①、表1のb）

3日12時48分に東京湾で発生した地震（M4.1、深さ112km）により、関東地方、山梨県及び静岡県で震度2から1を観測しました（図4）。県内では、伊豆市及び東伊豆町で震度1を観測しました。（図5）。

②静岡県西部の地震（図1、図2及び図3の②、表1のd）

23日21時32分に静岡県西部で発生した地震（M3.3、深さ21km）により、長野県、静岡県及び愛知県で震度1を観測しました（図5）。県内では、西部、島田市及び牧之原市で震度1を観測しました（図6）。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型でした（図10）。

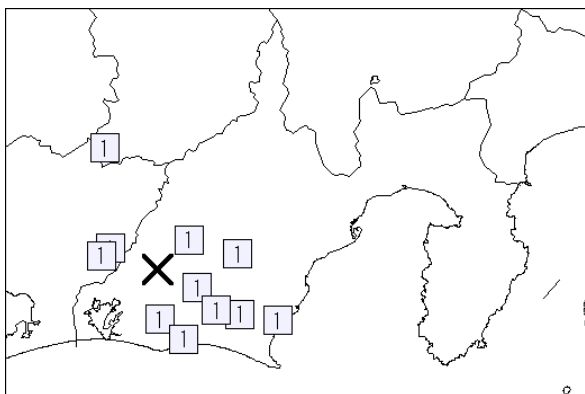


図6 県内及びその周辺の震度分布図
（×は震央を示す）

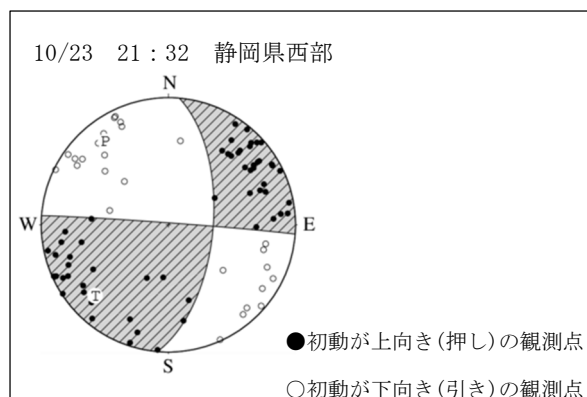


図7 初動発震機構解

2. その他の地域（図1の範囲外）

③千葉県南東沖の地震（表1のa）

3日12時37分に千葉県南東沖で発生した地震（M4.2、深さ60km）により、関東地方、静岡県で震度2から1を観測しました（図8）。県内では、東伊豆町で震度1を観測しました（図9）。

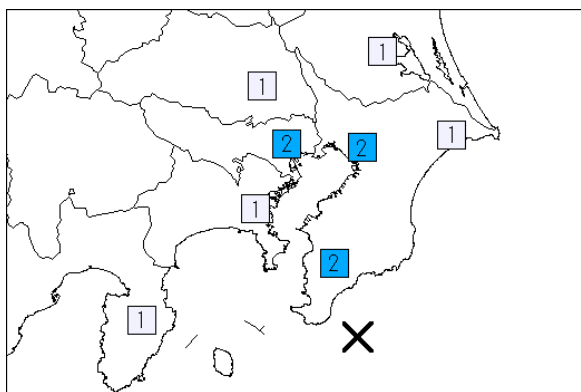


図8 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

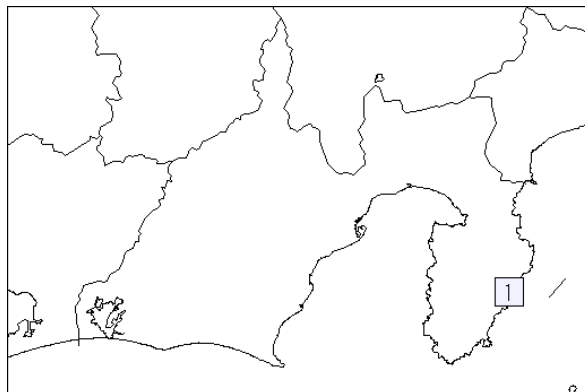


図9 県内及びその周辺の震度分布図

④福島県沖の地震（表 1 の c）

5 日 00 時 21 分に福島県沖で発生した地震（M6.0、深さ 45km）により、福島県で震度 4 を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方、静岡県で震度 3 から 1 を観測しました（図 10）。県内では、東部及び伊豆で震度 1 を観測しました（図 11）。

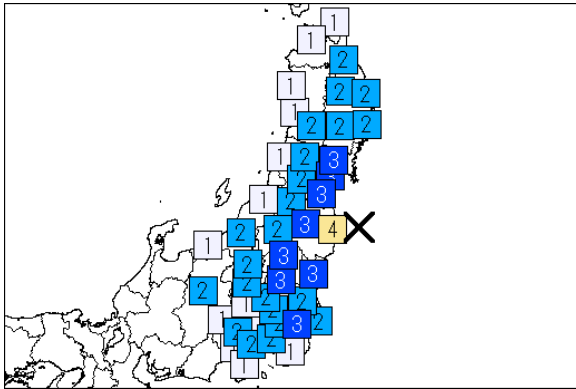


図 10 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

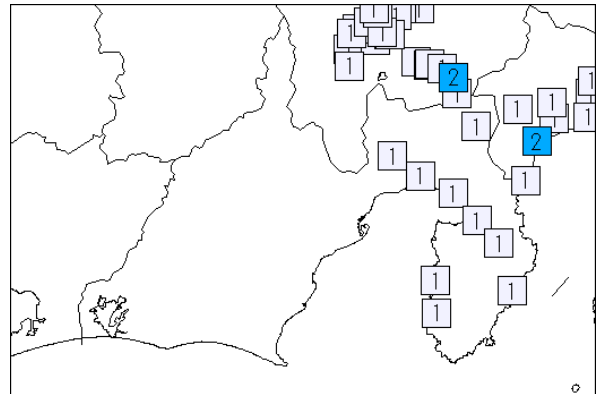


図 11 県内及びその周辺の震度分布図

⑤千葉県北西部の地震（表 1 の e）

24 日 15 時 47 分に千葉県北西部で発生した地震（M4.0、深さ 69km）により、千葉県及び東京都で震度 2 を観測したほか、関東地方、静岡県で震度 1 を観測しました（図 12）。県内では、伊豆市及び東伊豆町で震度 1 を観測しました（図 13）。

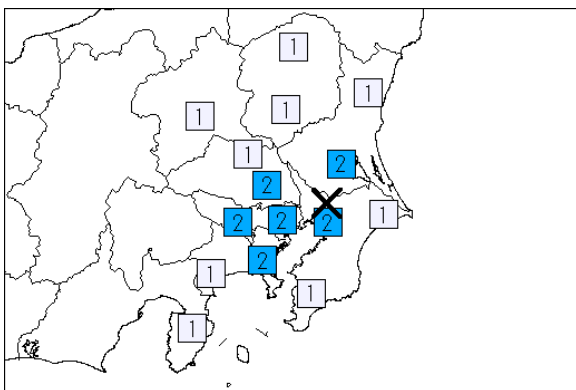


図 12 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

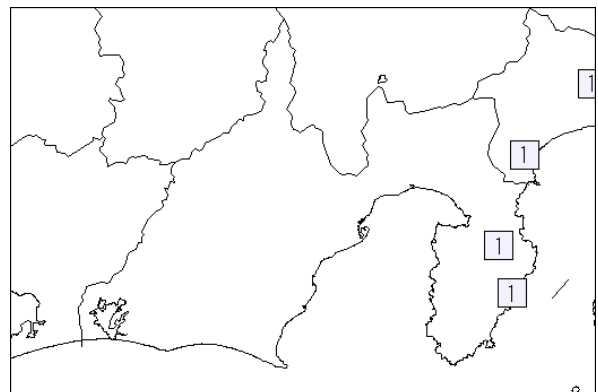


図 13 県内及びその周辺の震度分布図

⑥栃木県北部の地震（表2のf及びg）

26日12時04分に栃木県北部で発生した地震（M4.7、深さ5km）及び同日12時05分に栃木県北部で発生した地震（M2.8、深さ6km）により、栃木県で震度4を観測したほか、宮城県、福島県、関東甲信越地方及び静岡県で震度3から1を観測しました（図14）。県内では、富士市で震度2を観測したほか、富士宮市、沼津市、御殿場市、小山町、伊豆の国市及び伊豆市で震度1を観測しました（図15）。なお、2つの地震がほぼ同時刻に発生したため震度の分離ができません。

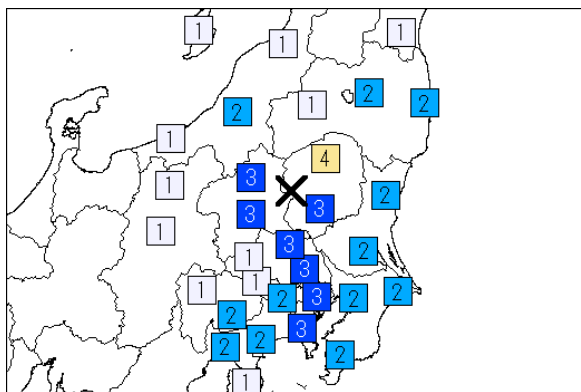


図14 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

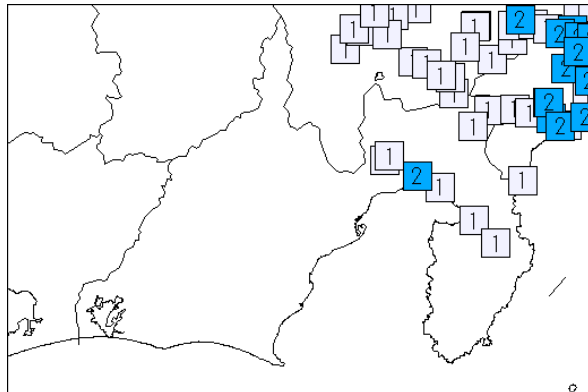


図15 県内及びその周辺の震度分布図

⑦千葉県北西部の地震（表2のh）

26日22時34分に千葉県北西部で発生した地震（M4.3、深さ69km）により、関東地方、山梨県、静岡県で震度2から1を観測しました（図16）。県内では、熱海市、富士宮市、伊豆市及び東伊豆町で震度1を観測しました（図17）。

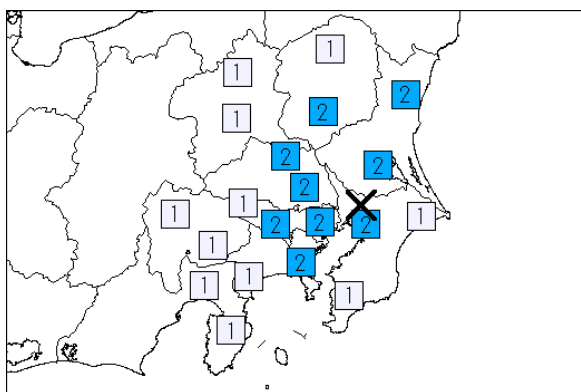


図16 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

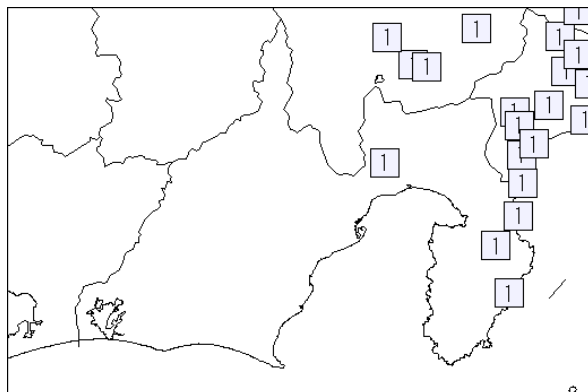


図17 県内及びその周辺の震度分布図

3. 富士山の地震活動

富士山では、深部低周波地震を5回観測しました。また、高周波地震を3回観測しました。(9月の深部低周波地震は4回、高周波地震は13回)。

「深部低周波地震」「高周波地震」は、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」の「火山性地震・火山性微動に関する用語」：<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/shindou.html>」をご覧ください。

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料は、静岡地方気象台ホームページの「静岡県の地震概況」に掲載してあります。

https://www.data.jma.go.jp/shizuoka/shosai/gaikyo_eq/gaikyo_eq.html

問い合わせ先：静岡地方気象台 地震・火山担当 電話 054-286-3521

表 1 [県内震度観測点で震度 1 以上となった地震とその震度]

(記号は以下の各地の震度表中の記号に対応、*印は自治体、国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、－は運用休止中を示す)

記号	地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度(県外を含む)
a	10月3日12時37分	千葉県南東沖	34° 50.8′	140° 06.2′	60km	4.2	2 : *千葉県南房総市岩糸ほか
b	10月3日12時48分	東京湾	35° 31.8′	139° 53.2′	112km	4.1	2 : *千葉県市川市大町ほか
c	10月5日00時21分	福島県沖	37° 25.1′	141° 35.1′	45km	6.0	4 : *福島県双葉町長塚
d	10月23日21時32分	静岡県西部	34° 53.5′	137° 47.0′	21km	3.3	1 : *浜松市天竜区春野町ほか
e	10月24日15時47分	千葉県北西部	35° 48.3′	140° 07.3′	69km	4.0	2 : *千葉県鎌ケ谷市新鎌ケ谷ほか

地域	震度観測点	各地の震度				
		a	b	c	d	e
静岡県	下田市加増野					
	*下田市中					
	*下田市敷根					
	*東伊豆町稲取					
	*東伊豆町奈良本	1	1	1		1
	*河津町田中					
	南伊豆町石廊崎					
	*南伊豆町入間					
	*南伊豆町下賀茂					
	*松崎町江奈					
	*松崎町宮内			1		
	*西伊豆町仁科					
	*西伊豆町字久須			1		
	*西伊豆町一色					
	熱海市網代					
	*熱海市泉					
	*熱海市中央町					
	伊東市大原					
	*伊東市八幡野					
	*函南町平井					
	*伊豆の国市長岡			1		
	*伊豆の国市田京					
	*伊豆市小立野					
	*伊豆市土肥					
	*伊豆市湯ヶ島					
	*伊豆市八幡					
	伊豆市中伊豆グラウンド		1	1		1
静岡県	*沼津市高島本町					
	*沼津市御幸町					
	*沼津市西間門			1		
	*沼津市戸田					
	*沼津市原					
	三島市東本町					
	*三島市大社町					
	御殿場市萩原			1		
	*御殿場市茱萸沢					
	*御殿場市竈					
	*裾野市石脇					
	*裾野市佐野					
	*静岡清水町堂庭					
	*長泉町中土狩					
	*小山町藤曲					
	*小山町須走					
	富士宮市弓沢町			1		
	*富士宮市猪之頭					
	*富士宮市野中					
	*富士宮市長貫					
	*富士市本市場					
	*富士市永田町					
	*富士市岩瀬					
	*富士市吉永			1		
	*富士市大淵					
	富士市富士総合運動公園	－	－	－	－	－
静岡県中部	静岡駿河区曲金					
	*静岡駿河区用宗					
	*静岡葵区追手町県庁					

地域	震度観測点	各地の震度				
		a	b	c	d	e
静岡県	*静岡葵区追手町市役所					
	*静岡葵区駒形通					
	*静岡葵区梅ヶ島					
	静岡清水区千歳町					
	*静岡清水区蒲原新栄					
	*静岡清水区由比北田					
	*静岡清水区谷津					
	*島田市金谷代官町					
	島田市川根町家山				1	
	島田市元島田					
	*島田市川根町笹間上					
	*焼津市石津					
	*焼津市宗高					
	*藤枝市瀬戸新屋					
	*藤枝市岡出山					
	*藤枝市岡部町岡部					
	牧之原市鬼女新田					
	*牧之原市静波				1	
	*吉田町住吉					
	*川根本町上長尾					
	*川根本町東藤川					
	*磐田市見付					
	*磐田市国府台					
	*磐田市福田				1	
	*磐田市岡					
	*磐田市下野部					
	袋井市新屋					
静岡県	*袋井市浅名					
	*掛川市長谷				1	
	*掛川市西大淵					
	*掛川市三俣					
	掛川市篠場					
	御前崎市御前崎					
	*御前崎市池新田					
	*静岡菊川市赤土					
	*静岡菊川市堀之内				1	
	*静岡森町森				1	
	*浜松市天竜区春野町				1	
	*浜松市天竜区二俣町鹿島					
	*浜松市天竜区龍山町					
	*浜松市天竜区佐久間町					
	*浜松市天竜区水窪町					
	浜松中央区高丘東					
	*浜松中央区元城町					
	*浜松中央区三組町					
	*浜松浜名区西美園					
	*浜松中央区流通元町				1	
	*浜松中央区舞阪町					
	*浜松中央区雄踏					
	*浜松中央区江之島町					
	浜松浜名区滝沢町					
	*浜松浜名区細江町					
	浜松浜名区三ヶ日町					
湖西市	*湖西市新居町浜名					
	*湖西市吉美					

表2 [県内震度観測点で震度1以上となった地震とその震度]

(記号は以下の各地の震度表中の記号に対応、*印は自治体、国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、－は運用休止中を示す)

記号	地震発生時刻	震央地名	北緯 東経	深さ	M	最大震度(県外を含む)
f	10月26日12時04分	栃木県北部	36° 37.4' 139° 27.1'	5km	4.7	4 : *日光市足尾町通洞ほか
g	10月26日12時05分	栃木県北部	36° 37.3' 139° 27.6'	6km	2.8	
h	10月26日22時34分	千葉県西北部	35° 48.0' 140° 05.8'	69km	4.3	2 : *千葉県市川市大町ほか

注：fとgの地震については、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため、各々の地震は分離できません。

地域	震度観測点	各地の震度				
		f, g	h			
静岡県	下田市加増野					
	*下田市中					
	*下田市敷根					
	*東伊豆町稲取					
	*東伊豆町奈良本		1			
	*河津町田中					
	南伊豆町石廊崎					
	*南伊豆町入間					
	*南伊豆町下賀茂					
	*松崎町江奈					
	*松崎町宮内					
	*西伊豆町仁科					
	*西伊豆町宇久須					
	*西伊豆町一色					
	熱海市網代		1			
	*熱海市泉					
	*熱海市中央町					
	伊東市大原					
	*伊東市八幡野					
	*函南町平井					
	*伊豆の国市長岡	1				
	*伊豆の国市田京					
	*伊豆市小立野					
	*伊豆市土肥					
	*伊豆市湯ヶ島					
	*伊豆市八幡					
	伊豆市中伊豆グラウンド	1	1			
静岡県	*沼津市高島本町					
	*沼津市御幸町					
	*沼津市西間門					
	*沼津市戸田					
	*沼津市原	1				
	三島市東本町					
	*三島市大社町					
	御殿場市萩原	1				
	*御殿場市茱萸沢					
	*御殿場市竈					
	*裾野市石脇					
	*裾野市佐野					
	*静岡清水町堂庭					
	*長泉町中土狩					
	*小山町藤曲	1				
	*小山町須走					
	富士宮市弓沢町	1				
	*富士宮市猪之頭					
	*富士宮市野中	1	1			
	*富士宮市長貫					
	*富士市本市場					
	*富士市永田町					
	*富士市岩瀬					
	*富士市吉永	2				
	*富士市大淵					
	富士市富士総合運動公園	－	－			
静岡県中部	静岡駿河区曲金					
	*静岡駿河区用宗					
	*静岡葵区追手町県庁					

地域	震度観測点	各地の震度				
		f, g	h			
静岡県	*静岡葵区追手町市役					
	*静岡葵区駒形通					
	*静岡葵区梅ヶ島					
	静岡清水区千歳町					
	*静岡清水区蒲原新栄					
	*静岡清水区由比北田					
	*静岡清水区谷津					
	*島田市金谷代官町					
	島田市川根町家山					
	島田市元島田					
	*島田市川根町笹間上					
	*焼津市石津					
	*焼津市宗高					
	*藤枝市瀬戸新屋					
	*藤枝市岡出山					
	*藤枝市岡部町岡部					
	牧之原市鬼女新田					
	*牧之原市静波					
	*吉田町住吉					
	*川根本町上長尾					
	*川根本町東藤川					
	*磐田市見付					
	*磐田市国府台					
	*磐田市福田					
	*磐田市岡					
	*磐田市下野部					
静岡県西部	袋井市新屋					
	*袋井市浅名					
	*掛川市長谷					
	*掛川市西大淵					
	*掛川市三俣					
	掛川市篠場					
	御前崎市御前崎					
	*御前崎市池新田					
	*静岡菊川市赤土					
	*静岡菊川市堀之内					
	*静岡森町森					
	*浜松天竜区春野町					
	*浜松天竜区二俣町鹿					
	*浜松天竜区龍山町					
	*浜松天竜区佐久間町					
	*浜松天竜区水窪町					
	浜松中央区高丘東					
	*浜松中央区元城町					
	*浜松中央区三組町					
	*浜松浜名区西美園					
	*浜松中央区流通元町					
	*浜松中央区舞阪町					
	*浜松中央区雄踏					
	*浜松中央区江之島町					
	浜松浜名区滝沢町					
	*浜松浜名区細江町					
	浜松浜名区三ヶ日町					
静岡県中部	*湖西市新居町浜名					
	*湖西市吉美					

南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）

地震調査委員会では、海のプレートと陸のプレートの境界に位置する海溝沿いで発生する地震（海溝型地震）の長期評価を行っており、南海トラフの地震については、2001年に長期評価を取りまとめた。その後、日本海溝で発生する地震の評価において、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震のような超巨大地震を的確に評価できていなかったことをはじめ、海溝型地震の長期評価に関して様々な課題が明らかとなったことから、2013年に南海トラフの地震活動の長期評価を暫定的に改訂し、第二版として取りまとめた。

その後、10年以上が経過し、その間に第二版を全面的に改訂するような新たな調査研究成果はないものの、一部で新たな知見が得られたことから、今回、それらの新たな成果を取り入れるため、第二版の一部について改訂が行われた。

南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）のポイント

令和7年9月26日
地震調査研究推進本部事務局

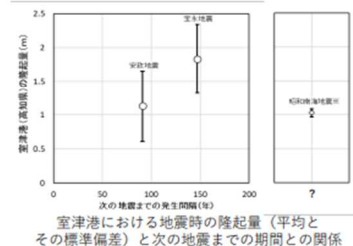
- 第二版において地震発生確率の計算に用いていた、地震時の室津港（高知県）の隆起量の推定値について、今般、新たな知見があったため評価に反映させることとし、地震発生確率に関する部分のみを改訂する（一部改訂）。
- 2つの計算方法を用いて各々地震発生確率を計算した結果、**共に最も高いⅢランク**※に分類される値となった。
- **地震発生確率についてⅢランクという評価は変わっておらず、国、地方公共団体、住民などは、地震発生に対する防災対策や日頃からの備えに引き続き努めていくことが必要。**

※ 30年以内の地震発生確率に基づきランク分けを行っており、海溝型地震の場合、**確率の値が26%以上の場合、最も高い「Ⅲランク」**としている。

1. これまでの経緯

- 地震調査委員会は、防災対策の基礎となる情報を提供するため、将来発生すると想定される地震の場所、規模、発生確率について評価し、これを長期評価として公表。
- 「南海トラフの地震活動に関する長期評価」の第一版は平成13年に、第二版は平成25年に公表。
- 南海トラフ地震の発生確率の計算にあたって、第一版時から用いていた「時間予測モデル」※については、この概念を計算に用いるべきか否か議論がある。

※地震規模に相当する観測値（室津港の隆起量）と地震発生間隔の比例関係（時間予測モデル）から得られる次の地震までの発生間隔をBPTモデル（ブラウン緩和振動過程モデル）のパラメータの一つである平均活動間隔として適用し発生確率を計算。一方、南海トラフ以外の他地域の海溝型地震では、時間予測モデルに適用できる地震規模に相当する観測値がないため、地震発生履歴のみからBPTモデルを用いて発生確率値を計算している。



2. 地震発生確率の計算方法の主な見直し

1 隆起量データの見直し

隆起量データには誤差があるとの新たな知見を反映した。見直した隆起量データは次回地震までの間隔と概ね正の比例関係にあることを改めて確認。

2 地震発生確率計算モデルの見直し

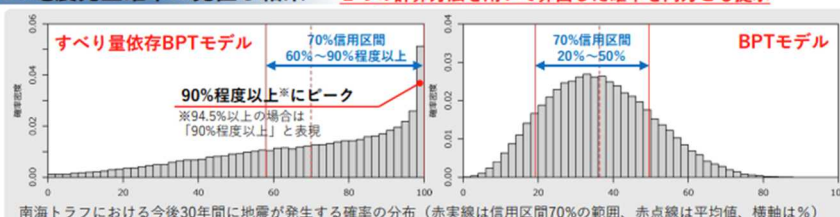
時間予測モデルとBPTモデルを融合した「すべり量依存BPTモデル」を新たに採用。BPTモデルも使用。これら2つのモデルによる確率は**科学的にどちらが良いのかは優劣つけられない。**

3 データの少なさへの対応

発生頻度が少ない大地震に関するデータのように、少ないデータからでも安定した推定が可能となる統計的な手法を適用して、地震発生確率を計算。これにより、**確率の分布を表すことができるようになり、推定値のばらつきを定量的に評価できるようになった。**

3. 地震発生確率の見直し結果

2つの計算方法を用いて算出した確率を両方とも提示



南海トラフにおける今後30年間に地震が発生する確率の分布（赤実線は信用区間70%の範囲、赤点線は平均値、横軸は%）

国や地方公共団体等が、防災対策を推進するにあたって、住民等に対して、最も高い「Ⅲランク」を示すことを強く推奨する。一方、確率の具体的な値を示す必要があるときも想定される。その場合には、「疑わしいときは行動せよ」等の考え方に基づいて、2つの計算方法の中でも、より高い方の確率値（今後30年以内で60%～90%程度以上（2025年1月1日時点））を強調することが望ましい。

M8～9の地震	用いたデータ	ランク (2025/1/1時点の今後30年以内の発生確率)
第二版	・隆起量データ ・地震発生履歴	Ⅲランク (80%程度)
第二版一部改訂	・隆起量データ ・地震発生履歴	Ⅲランク (60%～90%程度以上)
	・地震発生履歴	Ⅲランク (20%～50%)

防災対策上の観点

- 2つのモデルからの地震発生確率値は**共に最も高い「Ⅲランク」**※に分類される。

※ 30年以内の地震発生確率に基づきランク分けを行っており、海溝型地震の場合、**確率の値が26%以上の場合最も高い「Ⅲランク」**としている。

- **地震発生確率値のランクは「Ⅲランク」という状況は変わっておらず、国、地方公共団体、住民などは、地震発生に対する防災対策や日頃からの備えに、引き続き努めていくことが必要。**